



『ベンチャーの手本『空気カー』、

脳裏に残るF1設計者の気概、印象的なタタの支援』

ベンチャー企業は変わった発想が命である。これで思い出されるものは様々あるが、電池を持たなくても車が走る空気自動車というのは今でも頭から離れない、究極の空気カーと言っている。

発火源となるガソリン類も電池もまったく内臓しない。排気管から出るのは完全無害のガス。それでいて容量90立方メートルの空気タンクを圧縮空気で満タンにしておくと100キロメートルは走ることができる。動かすのは排気量900ccの4気筒エンジン。このエンジンのピストンを圧縮空気が作動させる。この空気カーの大きな特徴は、自分で空気を圧縮・注入できること。圧縮空気スタンドなんてあるわけないから、自分の車に圧縮装置を備えている。

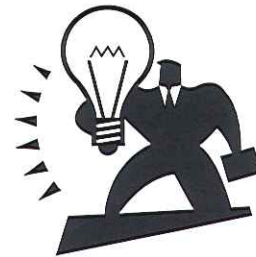
それにこの空気カーが頭を離れない理由がもうひとつある。それはインドのタタ自動車が絡んでいることだ。インドの国民車として1台30万円代の超低コスト車を提供しているあのタタ自動車である。

実はこの空気カーは、F1レース・カーなどの設計・製作を手掛けていたフランスのギー・ネグルが発想。彼が1991年、ニースに設立していたMDI社で開発が進められた。圧縮空気を原動力として走る空気カーは有害廃棄を一切出さず、都市内などを走るのはまさに最適だからだ。

だが問題は開発資金。そこに1991年、この車の斬新性を聞きつけたタタが現れ、東アジアの販売数を担保にバックアップに乗り出した。2008年、ニューヨークでのモーター・ショーを覗いた人々は大いに驚いた。空気カー「ワンキヤット」が展示されていたからである。量産販売予定価格の1台3500ドルが目をつけた。タタは価格の高いガソリンや有害な排出ガスからの脱出を懸命に考えていた。

空気カーはまさにこの答えに最適であった。今でも電池で走る電気自動車（EV）の一般的な航続距離は100キロ程度。空気カーとあまり変わらない。それでいてEV価格の7割以上も占める高価なリチウム・イオン電池は全くないから安く安全。

その後あまりワンキヤットの噂が耳に入っていないが、ベンチャーの雄ワンキヤットは健在なのだろうか。



多摩大学名誉教授 那野比古

授業風景：「新日鉄住金」への貸出金

元金融マンの小職は、今大学で学生相手に「金融論」を論じている。講義では、金融には二通りの道があり、一つは直接金融（＝株式発行による資本金獲得）で、もう一つは間接金融（＝銀行による融資・借入）であると教えている。

学生からはこんな質問がある。株式発行では利益分配による配当金支払義務が生じるものの、元金（資本金）は返済の義務がないのです。反対に銀行借入の場合、期間利息の支払いと約定期限での元金（借入金）返済義務が発生します。よく理解できている。

しかし、先生！日本興業銀行（現みずほ銀行）が新日本製鉄（現新日鉄住金）へ設備資金として融資した貸出金は、貸出期限に継続となり何十年もの間借入利息は支払われるものの、元金は返済されたことが一度もないと聴きます。これって本当でしょうか。金融業界志望学生の上級レベルの質問である。

答えは、「然り」。

先生！であれば、この貸金は「ニアリーイーコール→資本金」ということになりませんか。金利支払いと配当金支払いの差はあるものの。

資本金では、「企業の返済義務はなく」他方、株主は「株主有限責任＝投資額以上に会社が負った負債等の返済義務はなし」があるが、融資には、借入企業に期限の利益（契約期

間は原則返済の必要がない）があり、債権者銀行といえども期限前の返済は強要できない。期限内は借入企業のもの。こういった追加の説明をしている。

真面目に聴いている学生を前に、時折「脱線」を試みる。

脱線1：自身の経験した金融制度未発達国々では、貸借契約書が銀行側に8割方有利に作成され「期限の利益中断事項」が散見される。その結果、債権者の銀行は債務者（借入企業）が担保に入れていた不動産や財産を取ってしまう。

脱線2：『実線』＝『点線』なり。『実線』→十線→10（Ten）線→『点線』90分の講義は長いので教える側・教えられる側とも息抜き・リラクゼーションタイムが必要。また、授業解説も批判的な側面から疑ってみて、自分の納得した理解へ到達することが大学レベルである。

「信用」（＝金融）とは金融業界で頻繁に出てくる業界用語であるが、日本興業銀行と新日本製鉄の資金の貸借関係において、最も重要な事柄である。お互いの信用関係がそこまで高まる・深まれば、貸出金＝「ニアリーイーコール→資本金」となるのである。そうした関係を将来築くベンチャー企業が一つでも多く出てくるのが期待される。

太成学院大学経営学部長
関戸恒昭

シニアベンチャーが活躍中!! ～ボランティアで出張演奏～

大手銀行を定年で退職された中島 省三氏は学生時代から続けておられるギター演奏の経験を生かしグループで出張演奏の活動をされています。音楽は人が集い心が穏やかになるという思いから地域や企業サークルの集いなどに出かけられ、皆様から大変感謝されておられるようです。今後は活動範囲を広げてさらに地域や諸団体のお役に立つ演奏を目指されています。

また、現職時代の経験を生かし事業継承を主としたコンサルティングもなされており、まさに生涯現役でご活躍されています。

詳しくはエス・エヌ・コーポレーション 代表者 中島省三 様までお問い合わせ下さい。


携帯電話：080-5357-3508
Email: kiy63@cwk.zaq.ne.jp

記・VEC関西支部 事務局

アンサンブル
ルチア
Lucia

フルート・ギターに
マンドリン・マンドラを加えた、
他にないアンサンブルです。

・ボランティアで出張演奏いたします
お気軽に声をかけてください。



連絡先: 中島 省三
京都府京都市東山区成田町が丘37-32
携帯: 080 5357 3508

「出雲大社本殿遷座祭」に参列して

今年は、出雲大社と伊勢の神宮とがそろって御遷宮を迎える年。なかでも出雲大社の場合六十年に一度の大事事という貴重な年だ。5月10日、この日が出雲大社の「本殿遷座祭」。平成20年4月から本殿造営・修造のためいったん「仮殿」に遷られていた大国主大神が、修復なった本殿にお遷りになるというご神事である。

私は出雲市出身者。この機会を逃す手はなかりう。「近畿いずも会」という出雲出身者の仲間でバスツアーを組んで出かけることにした。この日は天候が心配された。バスの道中、岡山あたりでは大雨…。しかし、である。夕刻、出雲大社に着いたら、なんとなんと雨は止んでいた。7時、予定通りご神事開始。今にも雨が降りそうで、気になる空模様だった。しかし、暮れなずんでいく辺り一帯は、その怪しげな空模様が、かえって、荘厳な雰囲気を作り上げて行った。境内には、進行の説明以外には、太鼓の音と笛の音、そして、「オオー」という神官の警蹕^(*)の声のみが響き渡る。そんな中で、絹垣に囲まれた御神体が神輿によって仮殿を出発。官司をはじめとする行列に伴なわれながら、瑞垣の周りを一周して本殿に戻って行った。2時間半という時間が、神聖な雰囲気に包まれて、知らぬ間に過ぎて行った。9時半、予定通りにご神事は終了。そして、「これで神事は終了しました」のアナウンスがあった途端のことだった。(後々まで、皆が思い出しては語るのだが、)突然豪雨が降り出した。テントを揺るがし、会話の声を邪魔するほどの雨音だった。

翌日、帰途の途中「万九千神社」で直会実施。この神社は神在月(旧暦10月)に出雲に参集した神々が一堂に会してから旅立つ由緒ある神社。そこで、官司に会った途端「おめでとうございませう」と言われた。最初何のことかよくわからなかった。そして、はたと気がついた。前日の遷座祭に参列したことを言っているのだ、と。われわれは、遷座祭を単なるイベントとして見物する立場ではなく、千載一遇のご神事に加わるというありがたい機会を得られたのであったということ。...

ご神事中は雨がピタッと止み、終了後の突然の豪雨...あれは、そのことを悟らせるために大国主大神によってなされた啓示だったのかもしれない、そう思ったのだった。


(※)【警蹕(けいひつ)】神事の時などに、先払いが声をかけて、あたりをいましめること。

藤井 暉彦

2020東京五輪の経済波及効果!

1964年以来2度目の開催となる56年ぶりの東京五輪!スポーツの祭典とは言え、経済波及効果はどれくらいになるのか...。関心と期待を持たれる企業や人は多いと思います。東京都の試算では約3兆円と推計されているようです。

◆その内訳は...

・サービス業	6510億円 (うち東京都 4779億円)	・建設	4745億円 (うち東京都 4591億円)	
・商業	2779億円 (" 1419 ")	・運輸	2426億円 (" 972 ")	
・情報通信	1909億円 (" 1456 ")	・電気機械	1746億円 (" 243 ")	
・不動産	1517億円 (" 1069 ")	・金融・保険	1178億円 (" 789 ")	
・その他	6799億円 (" 1435 ")			
		合計	2兆9609億円 (うち東京都 1兆6753億円)	

業種別ではサービス業が最も大きく、雇用の創出も15万人に達するとの事です。前回開催時には東海道新幹線開業や名神高速道路のほぼ全線開通、東京モノレール開業などもあり所得倍増計画による成長がありました。今回は東日本大震災の復興をはじめ、モノレール、カジノ等の要望もありますが是非ベンチャー創出の機会となることを切望するものです。また経済効果150兆円というすごい試算もありますが波及効果が関西をはじめ全国に及ぶことを期待します。(資料・日刊紙等より)

記・VEC関西支部 事務局

～VEC関西より～

・最近、景気が良くなってきたと感じます。アベノミクスの効果が出てきたのでしょうか? まず、株価が上がってきました。不動産の広告が目立ちます。一寸した喫茶店、レストランが混んでいます。まだまだ、秋の気配みたいなものですが、期待していいと思います。さて、このような時、ベンチャーは何をすべきなのでしょう? 今、利益を上げて、次のステップにレベルアップしましょう。そうです。「今でしょ!!!」 (本田)

・オリンピック招致一致団結のプレゼンは素晴らしいですね!「おもてなし」言葉だけではなく、本当の日本の良さが世界中に伝わることを願いたいと思います。(藤本)

・那野比古氏は永年VEC理事としても尽力され現在も多方面でご活躍中です。関戸氏は金融機関出身の大学学部長として教育に携わっておられます。中島氏、藤井氏とも企業OBの経験を生かして貢献されています。てんこもりは2004年10月に発刊以来、お陰様で109号を迎えました。皆様のご協力に感謝申し上げます。(澤村)

<交流会の予定>
平成25年11月27日(水)

・ATAC運営委員長 梶原 孝生 様
・ヒール・ザ・ワールド 代表 島中 恵美 様
「東日本大震災復興企画募集の審査会」

一般財団法人 ベンチャーエンタープライズセンター関西支部
〒541-0053 大阪府中央区本町2-3-6 本町ビジネスビル9階
TEL 06-6263-0366 FAX 06-4964-6293